

《担当者名》 吉田繁

【概要】

遺伝子検査学、遺伝子検査学実習で習得した知識と技術を整理し、より専門的な知識と高度な実習をおこなうことで、卒業後、遺伝子検査関連検査、研究の基礎となる知識と技術を修得する。本演習では1) 遺伝子検査に必要な器具の操作方法、2) 遺伝子配列の検索、3) 遺伝子検査法の開発とその評価、4) 遺伝子クローニング、5) 遺伝子配列の解析、6) 次世代シーケンサー、7) 細胞培養方法、8) 染色体検査についての講義と実習をおこなう。

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

(DP6) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。